HESTA

地方創生を実現！

HESTAデジタルヘルスケア

健康で長生き！最期まで家族一緒に 笑って暮らせる理想の「家」を創ります

HESTA AI SMART HOME

家電や住設機器を アプリ一つで遠隔操作！

スマートフォンやＡＩスピーカー、専用ロボットの遠隔操作機能を使って、家の中の家電や住設機器を自在に操作。カメラで留守中のご家族やペットを見守り、スマホのＧＰＳと連動して帰宅間近にお風呂などを準備することもできます。現在お使いの家電などをそのままスマート化できるので、とても経済的です。

健康管理も簡単に！

日本の未来を考えれば、医療を「在宅」を前提にした形に再構築する必要があります。私は住宅産業に60年お世話になってきた大倉の経営者として、「医療と暮らしをデジタルでつなぐ」仕組みづくりに取り組んで参りました。

その第一弾が今回ご紹介する「ＨＥＳＴＡデジタルヘルスケア」。我が家のデジタル化です。健康データを測定できる機器をＩｏＴでつなぎ、クラウド上に日々の健康データを蓄積することができます。家に居るだけで体調の変化に気づき、未病や早期発見につながるサービスです。

同時に進めているのが医療データのクラウド化。数年前から提携している社会医療法人「孝仁会」（釧路市）や専業のスタートアップと組み、クラウド電子カルテや在宅診療システムを開発しています。実証実験の段階に入っており、近く事業化できる見通しです。

この二つの取り組みが重なれば、掛かりつけ医はカルテ情報だけでなく、日々の健康データを参考に診断できるようになる。在宅診療でも高度な医療を提供できるようになります。「病院に通うのも一苦労」という雪国などの健康増進に役立てます。

クラウド上に生活者のヘルスケアデータがどんどん蓄積され、ビッグデータ化すれば医薬品の開発や医療技術の向上にも貢献するでしょう。保険商品や介護関連サービスの高度化にもつながると考えています。

「住宅から医療を考える」――。単純なことですが、この概念が抜け落ちていたから在宅医療は進展してこなかった。私は「ＨＥＳＴＡ」でそのモデルを作ります。後は国が中心になって日本を代表する企業様が大きく育ててください。２０３０年に「超高齢化」を迎える日本には、もう時間がない。私がこうしてド派手な広告を打ち続けるのは、多くの方にその事を気づいてほしいのです。

「健康で長生きして、最期は我が家の畳の上で迎える」。昭和な表現かもしれませんが、これこそがいつの世も変わらぬ「理想の人生」だと思いませんか。

株式会社大倉　代表取締役　清瀧静男

様々な健康機器を一つのアプリで管理し、
就寝中や運動時のデータもHESTAクラウドで蓄積します

データは洗面台のスマートミラーで確認できます！

暮らしと医療をデジタルでつなぐ

2020年～

暮らしの健康データ蓄積
HESTA デジタルヘルスケア

医療データのクラウド化

Phase1

オンライン診療の普及

医師は暮らしの健康データも参考にきめ細かな診断が可能になり、在宅診断が広がります。

Phase2

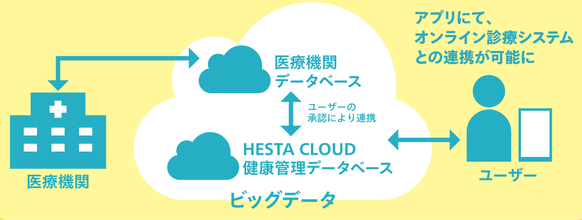
ヘルスケア・ビッグデータの完成

暮らしの健康データがビックデータ化すれば、医薬品の開発や保険商品、介護・健康サービスの進化に貢献。結果的に快適な暮らしが実現できます。

Phase3

2030年？

HESTAデジタルヘルスケア構想のイメージ



60TH Anniversary SINCE 1962
OKURA 株式会社大倉 https://www.okura.co.jp/
HESTA HESTA デジタルヘルスケア で 検索
お問い合わせはこちら！ HESTA ヘルスケア事業本部 0120-156-058 (平日9時～18時　定休日／土・日・祝) 詳しくはこちら
レストランを展開する株式会社ひらまつと提携し、顧客サービスの向上に努めています。
大倉が展開するHESTAスマートホームは、ミキハウス子育て総研から子育てを応援するスマートホームプランとして認定されています。
「HESTA防犯カメラ」は、一般社団法人日本子育て支援協会が主催する第3回「日本子育て支援大賞2022」を受賞しました。